

プロツアー規定 ウェイブ

1. 基本原則

このルールはフェアプレーとスポーツマンシップの原則に従い、セイリング技量、道具、を通してもっとも優れたセイラーを決めるものであり、危険行為や他のセイラーに害を及ぼす行為は許されない。このルールの下、すべての紛争がこの原則により解決される。

2. アシスト

各選手は他のセイラーが危険な状態にある場合、できる限りのアシストをしなければならない。

3. 選手の責任

競技に参加するか、また競技を続行するのかの安全判断は、各選手の責任において行う。

4. 大会のステイタス

- A 賞金総額 80 万円未満
- AA 賞金総額 80 万円以上
- AAA 賞金総額 200 万円以上

5. コンディション

5-1.

ウェイブパフォーマンスは波のある場所で行われなければならない。また適切なコンディションで行われなければならない。この適切かどうかの判断は、コンテストディレクターに任される。

5-2.

風速、ミニマム、風向き、波の大きさに対してのプロテストには、応じられない。

5-3.

大会ディレクターが危険と判断した場合は、大会を中止する場合がある。

6. 大会の主催と運営

6-1.

JWA の公認または主催の大会では、主催者は団体もしくは JWA に認可された個人であり、この主催者は JWA のルールにのっとってコンテストを主催、運営、ジャッジしなくてはならない。

7. 大会役員

7-1.

JWA 公認大会では下記の人員を用意する必要がある

- a. JWA 承認の WAVE コンテストディレクター
- b. JWA 承認の WAVE ヘッドジャッジ
- c. JWA 承認の WAVE ジャッジ最低 2 人

7-2.

コンテストディレクターは、コンテストコミッティーの委員長であり、コミッティーを主催する権利が与えられる。

7-3.

ジャッジはレースのイリミネーションを監視し、プロテストを解決する義務がある。プロテストはヘッドジャッジが議長となる。

7-4.

ジャッジは開会式およびスキッパーズミーティング時には、全てのジャッジを紹介するので、必ず参加する。不参加の場合、給与を減額する場合がある。

ジャッジはヒートスタート 30 分前に、ジャッジ席に集合し、練習中の選手を見ながら、ミーティングを行い、ヒートスタート 15 前にはファクターを発表する。

7-5.

ジャッジは公平かつ誤解を招くことがないためにも、同ブランドに所属する選手の、ジャッジングは出来るだけ行わない。

8. エントリーの条件

8-1.

JWA 公認または主催の大会にエントリーする選手は、JWA 会員でなければならない。

会員資格の有効期間は、入会した年度の 3 月 31 日までとする。

9. エントリー方法/レジストレーション

9-1.

JWA 公認大会にエントリーする選手は、JWA 事務局において管理される。この際の優先順位は、エントリーの早い順とする。

9-2.

JWA 会員はエントリー締め切り日を過ぎた後エントリーする場合、その大会で決める延滞金とエントリーフィーを支払わなければならない。

9-3. レジストレーション

- (a) 大会にエントリーした選手は、決められた日時までにレジストレーションを行わなければ、競技に参加出来ない。
- (b) やむを得ない事情によりレジストレーションに参加できない場合は、運営事務局、およびコンテストディレクターに、レジストレーション終了時刻までに、その理由を伝えなければならない。
- (c) 運営事務局、およびコンテストディレクターが正当な理由と判断した場合、レジストレーションに遅れる事を認める。その選手が関係する競技が、本人不在で行われた場合、その競技において最低順位およびポイントが与えられる。

9-4.

プロ戦はメンズクラス 8 名以上、レディースクラスは 3 名以上集まらない場合は各クラスキャンセルとする。

10. エキップメント

10-1.

選手はセイルナンバーを貼るべきである。ナンバーは縦 23 センチ以上でブームより上の位置で大会スポンサーのステッカー分を空け、見やすく貼らなくてはならない。そしてスタボ一側に貼ること。ナンバーは 4 桁以下でそれぞれの国籍のアルファベットが入っていないなくてはならない。

10-2.

選手が道具に関するコンテストディレクターの指示に従わない場合、その選手が失格になることがある。

11. 広告

11-1.

大会要項または帆走指示書に記載がある場合、大会中はいかなる場合でも、大会ステッカーをすべてのセイルに貼ること。また、ベストの着用を記載された場合、ほかのものの上に着ること。

11-2.

JWA はツアースポンサーのステッカーをセイルに貼ることを義務付ける。

11-3.

選手はステッカーの位置について、大会要項、帆走指示書、そしてコンテストディレクターの指示に従わなくてはならない。

11-4.

セイルのほかの場所には、ステッカーを貼ることができる。個人スポンサーの数やウインドサーフィン以外の業種には規制はないが、JWA 理事の過半数の判断で、不適切と思われるものは禁止することもある。

11-5.

JWA 主催のイベント開催時において、陸上本部及び、各社ブース付近の目立つ場所には、協賛ブランド以外のウインドサーフィングア、サーフボード、スタンドアップパドルボード、カイト、スケボー、スノボ等ウインドサーフィングア以外の商品を展示する事を禁止する。

ウインドサーフィンのジョイントが取り付け可能なスタンドアップパドルボードに関しては、ウインドサーフィンのボードと見なし、協賛ブランドであれば展示可能。

12. 義務とペナルティー

12-1.

すべての選手は、自分のセイルに貼られたステッカーに責任を持つ。

12-2.

以下の場合の時、選手は責任を問われない。

- a. 競技中、ステッカーがはがれてしまった場合
- b. ステッカーがうまくつかなかった場合
- c. レジストの際ステッカーが足らず、配布されなかった場合

12-3.

このルールに反したものはルール 16 によって罰則が科せられることもある。

13. 会員の一般姿勢

すべての会員は態度やセーリングを通してウインドサーフィン、大会スポンサー、JWA、そして自分自身のイメージを上げられるように努力しなくてはならない。これに反する行動をとった場合、JWA 理事の判断により罰せられる可能性もある。ウインドサーフィンを著しく汚す行動をとった場合、JWA 理事の過半数の判断で、退会を申し付けることもできる。

14. ファンレースへの参加

ファンレースはポイントに加算されないが、選手はコンテストディレクターの指示によるファンレースに参加する義務がある。選手にファンレースへの参加を求めるには、JWA に理事の過半数の許可を取る必要がある。参加義務のあるファンレースには、賞金の 10 パーセント以上の賞金を出さなければならない。コンテストディレクターの許可なしにファンレースに参加しなかった選手は、ルール 16 により罰せられることもある。

15. 公式行事への参加

大会中、選手は概要、帆走指示書、ノーティスボードに記載された行事に時間厳守で参加しなくてはならない。これを守らなかった場合、ルール 16 により罰せられる。

16. 罰金制度

16-1.

大会中、選手はプロとしての自覚を持って行動しなくてはならない。これ以下の項目は大会会場内において常にあてはまる。罰金は JWA に支払われ、対象となった選手は罰金を払うまでいかなる大会への出場も認められない。JWA 理事、コンテストディレクター、ヘッドジャッジは、協議し多数決により、罰金を科すかどうか決定することができる。

16-2.

大会規則(書面及び口頭の)に反した場合、10,000 円以下の罰金。JWA 理事の過半数により時には大会からの失格。

16-3.

コンテスト海面へコンテスト以外で侵入した場合 10,000 円以下の罰金。JWA 理事の過半数により時には大会からの失格。

16-4.

大会会場でごみを捨てた場合、10,000 円以下の罰金。JWA 理事の過半数により時には大会からの失格。

16-5.

大会中、公式行事に参加の義務がある。また、ノーティスボード、帆走指示書に記載された規則を守らなくてはならない。これに反した場合、10,000 円以下の罰金。JWA 理事の過半数により時には大会からの失格。

16-6.

ルール 11.12 に定められた広告に関する規定に反した場合 10,000 円以下の罰金。JWA 理事の過半数により時には大会からの失格。

16-7.

大会会場で暴言を吐いた場合、失礼なジェスチャーをした場合、大会会場の備品を壊した場合、大会関係者、メディア、相手選手等をののしる発言、挑発行為を禁止する。これに反した場合 10,000 円以下の罰金。修理費用の請求。JWA 理事の過半数により時には大会からの失格。

17. 得点計算方法

17-1.

賞金が分配する順位を決定するには、最低以下の順位を決定することが必要とされる。

ウェイブパフォーマンスメンズ	ベスト 8
ウェイブパフォーマンスウィメンズ	ベスト 2
フリースタイルメンズ	ベスト 4
フリースタイルウィメンズ	ベスト 2

17-2.

ダブルイリミネーションが予定されていないながらウィナーズサイドのみが実際行われた場合、これが最終結果となる。ルーザスサイドがベスト 8 まで行われた場合、ウィナーズサイドとあわせて最終結果とする。

ダブルイリミネーションの全てのヒートが終了した場合、正式な大会は終了とする。

17-3.

カットするコンテスト数は以下のように決定される。

コンテスト数	カット数
1-3	0
4-6	1
7-9	2

17-4.

タイブレークについて

- 1.同点ジャッジの場合、ファクターが高い方の、ピックアップされた合計点から採点する。
- 2.それでも解けない場合は、ファクターの高いほうから、ピックアップされた 1 本目、2 本目と採点していく。それでも解けない場合は、ファクターの低いほうから、ピックアップされた 1 本目、2 本目と採点していく。ファクターがイーブンの場合はウェイブポイントから採点していく。
- 3.上記の場合でも同点の場合はヒート時間を短くした再ヒートを行う。ヒート時間、ファクターはその都度発表される。

18. 大会総合結果の計算方法

18-1.

成立した全ての大会には 1 位から順にポイント(付則 D 参照)が与えられる。高いポイントの選手が勝者となる。

19. 公式掲示板(ノーティスボード)

公式の連絡事項は公式掲示板に書面で掲示されなければならない。帆走指示の変更といった重要な連絡事項に関しては、必ず音響信号を伴う L 旗の掲揚によって選手の注意をひかなければならない。

20. 賞金

その大会時において、ノーティスボードで掲示する。

・ウィメンズクラスとメンズクラスの賞金分配について ウィメンズクラスは下記の通りに分配する。

参加人数 4 名以下の場合、総賞金から 10%優勝者のみ授与の権利がある。

参加人数 8 名以下の場合、総賞金から 20%優勝者および 2 位の選手に授与の権利がある。

参加選手 9 名以上の場合、総賞金から 25%優勝者から 3 位の選手に授与の権利がある。

メンズクラスは賞金総額 50 万円以上の大会は、優勝者から 8 位までの選手に授与の権利がある。50 万円未満の大会は、優勝者から 4 位までの選手に授与の権利がある。

21. 年間ランキング

21-1.

ランキングは、大会総合結果の順位をもとに試合ステイタスに合わせたポイントを加算し高い者が年間チャンピオンとなる。なお、試合ステイタスのポイントは付則 D にて記載する。

21-2.

外国人選手の参加は、ウェイブは年間ランキング対象外のコンテストに限る。
フリースタイルはフリーエントリーとする。

22. 大会要項

大会要項は、最低大会初日から 1 ヶ月前に発行されなければならない。

23. シード権

シード権の決定はシーズン初戦は昨年度年間ランキングで決定する。

年間ランキングが同率の場合は高ポイントを得ているものが上位になる。

それで解けない場合は最終戦が上位の選手の順位が上になる。

ステイタス A のランキングポイントで表示される。2 戦目は昨年度年間ランキングと第 1 戦の順位をあわせ決定する。

3 戦目以降はその年の暫定年間ランキングにて決定する。

レイトエントリー、またはランキングポイントが無い選手は、ランキング最下位の選手として割り振る。

また対象となる選手が複数いる場合は抽選によって割り振られる。

シード表は付則 C を参照。

24. 大会要項の内容

大会要項には以下の項目を含まなくてはならない。

1. 大会名、場所
2. 大会が JWA 公認または主催であり、JWA ルールにのっとり行われること
3. 種目
4. レース数、シングルイリミネーションか、ダブルイリミネーションなのか
5. エントリー定員、エントリー条件
6. レジストの場所、時間
7. エントリー費
8. セイルにスポンサーステッカーを貼る義務があるかどうか
9. JWA ルールの変更点

10. 賞金総額またはその他賞品
11. その他、必要と思われる内容

25. プロテスト(抗議)・ペナルティ

25-1.

コンテストディレクターは選手が競技規則を守らなかったことに対して抗議できる。
コンテストディレクター以外は、そのケースの当事者のみが抗議できる。

25-2.

抗議が有効となるのは、抗議する選手がヒート終了後すみやかにコンテストディレクターまたはヘッドジャッジに以下のことを伝えた場合である。

- 1) 抗議もしくはプロテストという言葉、もしくはその明確な意志表示。
- 2) 自分の氏名、セイルナンバー。
- 3) 抗議の対象となる相手の氏名、セイルナンバー、もしくは相手が特定できる特徴。

25-3.

審問会はすみやかに開かれる。抗議した選手は2回の意見を延べる機会を与えられる。証人を呼ぶこともできる。

25-4.

すべての抗議の結果を翌日のスキッパーズミーティング、最終日の場合はできるだけ早く、以下の項目を含み提示しなければならない。

- 1) 抗議に関係した選手の氏名。
- 2) 抗議でわかった事実。
- 3) 適用された競技規則。
- 4) 判断の基準。

25-5.

審問の結果に対する上告は、いかなる手段も認められない。

25-6. ペナルティ

- (a) 選手が競技中に他の選手に対して反則を犯した場合、コンテストディレクター及び、ジャッジの判断で審問を行うことなく、反則した選手を失格にすることができる。
- (b) 帆走指示書、JWA 競技規則に従わない選手は、そのヒート、その大会を失格となる場合がある。
- (c) 航路権を持つ場合を含めて、身体への傷害や用具の重度な欠損の原因となるような衝突を避ける努力を明らかに怠った選手は、失格となるか罰せられる。
- (d) WAVE 競技中のインターフェアについては、インターフェアで乗った波乗りの得点はカウントしない。さらに、ピックアップされた最も高い点数の技の半点を減点する。同じヒートで2度のインターフェアを行った場合、即刻失格となる。

25-7. 救済

(a) 自己の責任によらず、次の理由により順位が実質的に不利となったと主張する選手は、競技規則 24 の抗議の方法に従って救済を申し入れることができる。

- 1) 競技委員のミス
- 2) JWA ルールブック、2.アシストに従う援助。
- 3) 優先権のない選手の過失

(b) 上記いずれかの状況において実質的に不利になったと判断された場合、ヒートに関する規則を現状のまま有効とする、不利となった選手の得点を修正する、ヒートをキャンセルしてやり直す、特定の選手のみヒートを行う、ヒートを取り消す、ヒートの続行時間を延長する、などの方法によって、当事者である選手全員に対してできる限り公平な措置が取られる。

26. 定義

競技中とは青旗掲揚から赤旗掲揚、またはヒートの中止、延期までの間の状態を競技中とする。

27. ウェイブライディング、ジャンプ

波に乗ってライディングしているときをウェイブライディングとなる。オンショアでのコンディションでは、カミングインを一つのウェイブライディングのカウントとなる場合もある。この判断はヘッドジャッジに任せられノーティスボードに告示する。波に戻るジャンプを行った場合ウェイブライディングとなる。それ以外をジャンプとする。

28. 波の優先権

うねりまたは波に最初に乗ったものが優先権を持つ。同時にそのうねりまたは波に乗った場合は、風上側にいる選手に優先権がある。優先権を持っていない選手は回避行動をとらなければならない。それに違反した場合は、インターフェアとなり最高得点をカットする。悪質な場合は失格とする。

29. キャンセルヒート

スタート信号後に無効になったヒートのこと。競技中 2 分以上演技ができなくなるコンディションになってしまった場合キャンセルとなる。マンオンマンの対戦の場合、一人でも演技している場合はその対象にはならない。4 人の 2 人上がりの場合、2 人以上が演技している場合はその対象にはならない。再スタートする場合は、原則としてキャンセルになった次のヒートを行った後に再スタートする。ヒート状況によってはキャンセルとなったヒートから行う。

ヒート時間の半分が経過後のキャンセルは、それまでの得点を継続しヒート時間の半分の再ヒートを行う。スタート時刻はフラッグ、または放送において選手に伝える。

30. コンディション

ライディング可能な波がヒート時間内に、必要本数入ることが最低条件であり、最終的にはコンテストディレクターの判断により決定される。

31. ジャッジ

ジャッジはピックアップ方式かファクター方式のいずれかによって採点される。

(採点方式は公示の段階で要綱に記載されなければならない。)

ジャッジシートは選手からの要望に応じて公表される。

ジャッジスコアに対する選手からの抗議は受け付けない。

ジャッジシートにはジャッジの氏名が記入されていなければならない。

32. ジャッジ範囲

コンディションを考え、ジャッジの判断のもとスタート地点とジャッジが採点可能な風下の地点に旗を立てその中をジャッジ範囲とする。それ以外で技をかけた場合採点されないことがある。

33. スタート

スタート 15 分前に L 旗を揚げる。選手は速やかにヒート海面を空けなければならない。

スタートする地点はスタートの旗の風下側から出艇しなくてはならない。

L 旗降下でシークエンスが始まる

青旗掲揚ヒートスタート

青旗降下ヒート終了 1 分前

赤旗掲揚ヒート終了

34. ヒート時間

最低 6 分とし、コンディションにより延長される。また、ラウンドごとにおいてコンテストディレクターの判断で変更することができる。この場合ノーティスボードに掲示し放送、L 旗掲揚等で選手に伝わるようにする。

ヒート終了の赤旗が掲揚した時点で、ウェイブライディングを行う場合、波がある程度掘れた状態でボトムターンに向かって走り出していなければカウントしない。既に演技をしている場合はカウントする。

35. ヒート表

ウイナーズが終了しルーザースヒートが行われる場合、ルーザースシード表に基づき振り分けられる。ヒートの進行状況によっては、ウイナーズヒート進行中に、ルーザースヒートを組み込む場合もある。ヒート表は付則 B 参照。

ヒート表に Bye がある場合は、最もランキングの高い選手から、順に適応される。

36. ストリーマー

ヒート表で指示されている位置に付けること。つけていない選手は失格になる場合がある。

37. ウェイブライディング

得点となるライディングは、波にテイクオフしてからとする。

スピード、技と技との組み合わせ、難度の高い技、波の大きさを採点基準とする。

具体的には、難度の高い技は波のカール付近、フックのところで行う技が多い。そしてオフザリップやローラーコースターなどのボトムからトップへと上がる角度が鋭く、スピードがあれば評価が高い。逆に波のフェイスも十分に使用せず、スピードもなく角度もない場合は評価が低い。

ショートライディングでもスピードを伴う最高度の技に対しては評価を高くし、ロングライディングでも技の難度が低く、安定性を重視したライディングは評価を低くする。

エア系系の技、360などの技に関しては、波に戻らなければプルアウトとみなされる。

波の中でフリースタイル系(スポック、グラビー、フラカ等)の技の流れを止めずに行った場合、ウェイブ点+1~3とする。

38. ジャンプ

得点基準としては 1・高さ+滞空時間 2・難度 3・完成度とする。

難度基準としては、1・バックループ 2・プッシュループ 3・フォワードループ 4・テーブルトップ、シャーベット等とする。これらの基準は同じ高さ、完成度でのことであり、それらが変われば得点の変動する。また、ダブル系の技に関してもこれは適用される。

* JWA メンズプロクラスは同じ種類のジャンプに関しては、もっとも得点の良い物のみをピックアップする。ワンハンド、ワンフット、クリューファースト、ノーハンド系のジャンプも同じ種類のジャンプとしてカウントする。ダブル系は別の種類のジャンプとする。

(* はファクター方式のみに適応され、ベスト MOVE ピックアップ方式には適応されない)

39. 得点

技名	得点	技名	得点
プッシュフワードループ	18	クレイジーピート	10
ダブルバックループ	16	バックループ	10
ダブルプッシュループ	15	プッシュループ	8
ダブルフワードループ	14	エアーフラカ	7
プッシュループテーブルトップ	12	フワードループ	5
エアーチャーチョ	11	シャーベット	4
テーブルトップフワード	10	テーブルトップ	3
シャカ	10		

*この得点表はすべて別種類のジャンプです。

*この得点は同じ高さで完着したときのポイントです。

*ジャンプの着水はクリーンに行った場合のみ完着とし、それ以外ですぐに走りだせる体制がとれた時はリカバリー点を与える。例:完着の得点 -1 ~ -5点とする。

*この得点は基準であり、低い簡単なジャンプにおいてはこの得点よりも低くなる場合がある。

*ニュームーブジャンプに関しては、ある程度の高さがなければ基準点の得点は与えられない。

*フリースタイルとの区別がつかないほどのものは高得点は与えられない。

・ワンハンド プラス1点以上

・ワンフット プラス1点以上

・クリューファースト1点以上

・プレーニング着水はプラス1点以上

・プレーニングの状態連続技を出した場合加点される。

・リカバリー点は低くつける。

・フリースタイル系の技に関しては、高さが無いものに関して得点は低くなる。

・ジャッジが見にくくなる沖、風下でのジャンプ技に関しては、得点は低くなる。

・ウィメンズクラスに関してはバック系のリカバリー得点は高くとる。

40. ベスト MOVE フォーマット方式

40-1. ピックアップ方法

規定時間内に、ウェイブ・ジャンプに関わらず、指定されたピックアップ本数の合計点で競い合う。

(例 3MOVE ピックアップの場合、ジャンプ 3 本のみ、またはウェイブ 3 本のみピックアップも可能。高得点の3MOVEが合計される。)

ピックアップの数はヒート開始前にノーティスボードにて発表される。

40-2. 得点基準(ジャンプ)

評価されるのは、高さ・難易度・完成度の順である。【※難易度は 39・得点表を参照】

つまり、高さがあり、難易度の高いジャンプであれば、リカバリー点も十分に加味される。

リカバリーとは、着水時にセイルが水没していない状態で技を完成させることである。

リカバリーの点数の加味は、高さや難易度により上下する。

(例 バックループは難易度がより高いが、高さのあるフォワードループが低いバックループの得点を上回る場合もある)

40-3. 得点基準(ウェイブ)

評価されるのは、角度・スピード・難易度である。基準はハイリスクハイリターン。

この 3 つが優れているライディングに関しては、リカバリー点も十分に加味される。

リカバリーとはトライした後波の前に戻っていることが前提である。

波のフェイス上でのトリック系も十分に評価対象となり得る。この場合はウェイブライディングの一環とみなされるつなぎ技として評価される。評価基準はハイリスクハイリターンに準じる。

40-4. 演技構成点

最大で 10 点満点をジャンプ点、ウェイブ点とは別に加点する。

演技構成点は文字通りヒート時間内の演技の構成の評価である。

技のバリエーション・アピール度・ゲームメイクなどを考慮して加点される。

40-5. 優劣

40-1.でピックアップされた得点合計に、演技構成点を加えた合計点の優劣で勝敗が決まる。

タイブレイクの場合は、演技構成点の優劣で決定する。

それでもタイの場合は、再試合を行う(設定されたヒートの半分の時間による)。

41. ファクター方式

規規定時間内においてジャンプ、ウェイブともに指定されたピックアップ本数に、その日のコンディションによって定められたファクターで倍加させた合計点で競い合う。

(例 ピックアップ数 ジャンプ 2 本 ウェイブ 3 本 /ファクター ジャンプ×1 ウェイブ×2 の場合 それぞれ得点の高い順からジャンプ 2 本の点数×1+ウェイブ 3 本の点数×2 の合計)

ピックアップ数、ファクターはヒート開始 15 分前にはノーティスボードにて発表される。

41-1. 得点基準(ジャンプ)

40-1 参照

41-2. 得点基準(ウェイブ)

40-2 参照

41-3. 優劣

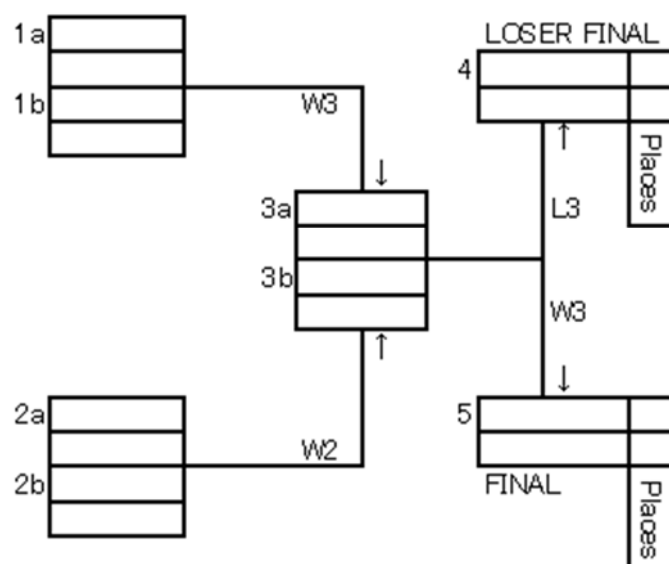
ファクター方式ではジャッジされた合計点の優劣で勝敗が決まる。タイブレイクの場合は 17-4 タイブレイクについてを参照。

付則 B ラダー表

SINGLE ELIMINATION

Wave Performance Elimination Ladder to 8 Competitors

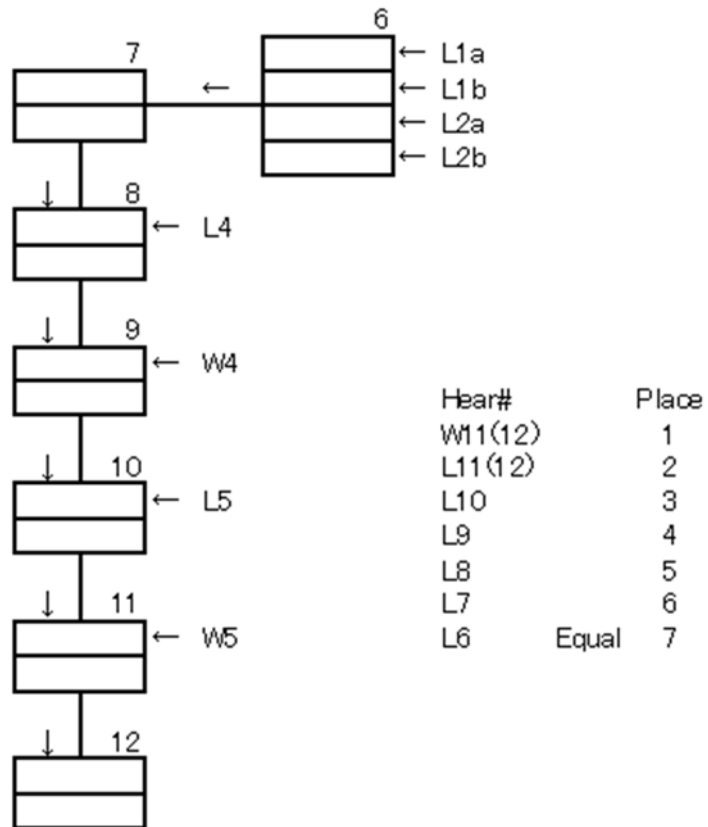
W = Winners L = Losers



DOUBLE ELEMINATION

Wave Performance Elimination Ladder to 8 Competitors

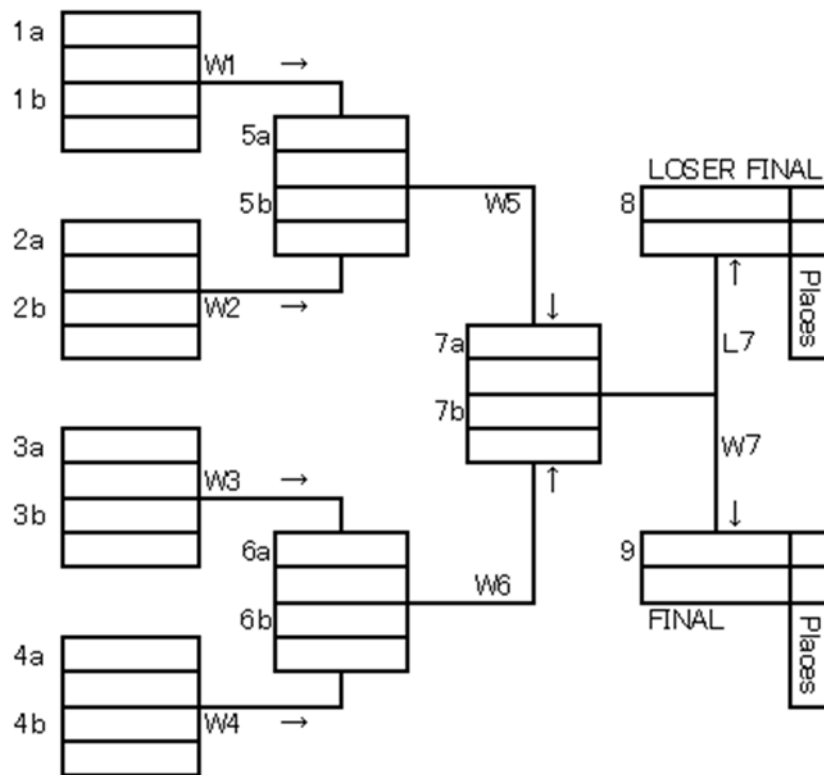
W = Winners L = Losers



SINGLE ELEMINATION

Wave Performance Elimination Ladder to 16 Competitors

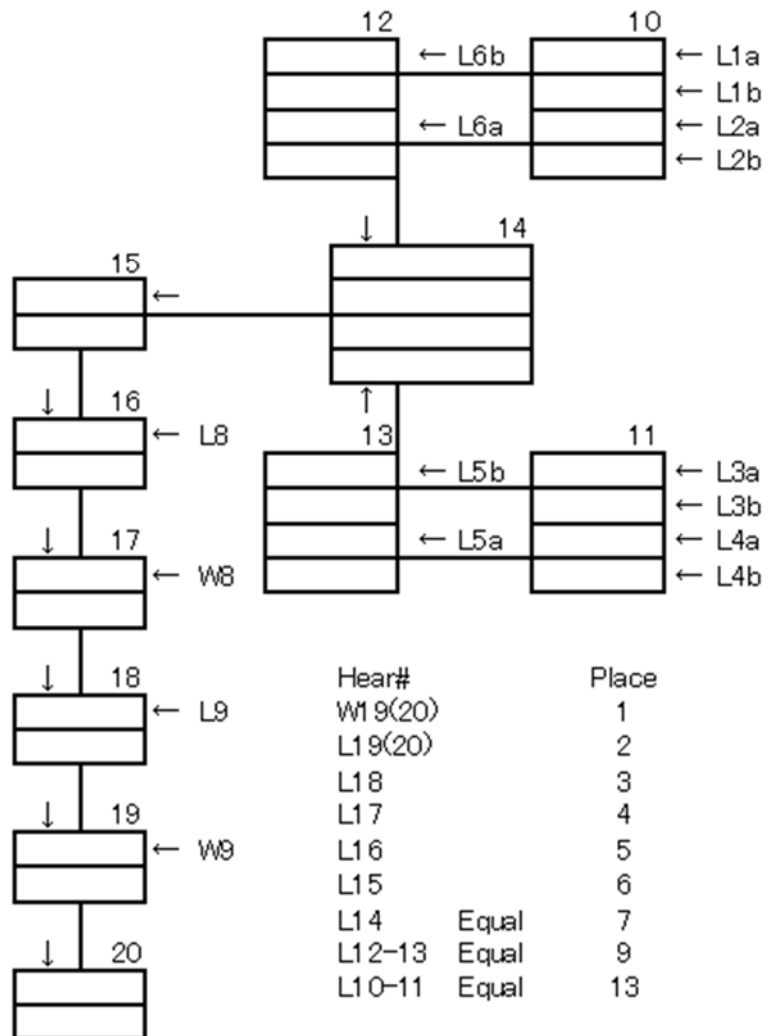
W = Winners L = Losers



DOUBLE ELEMINATION

Wave Performance Elimination Ladder to 16 Competitors

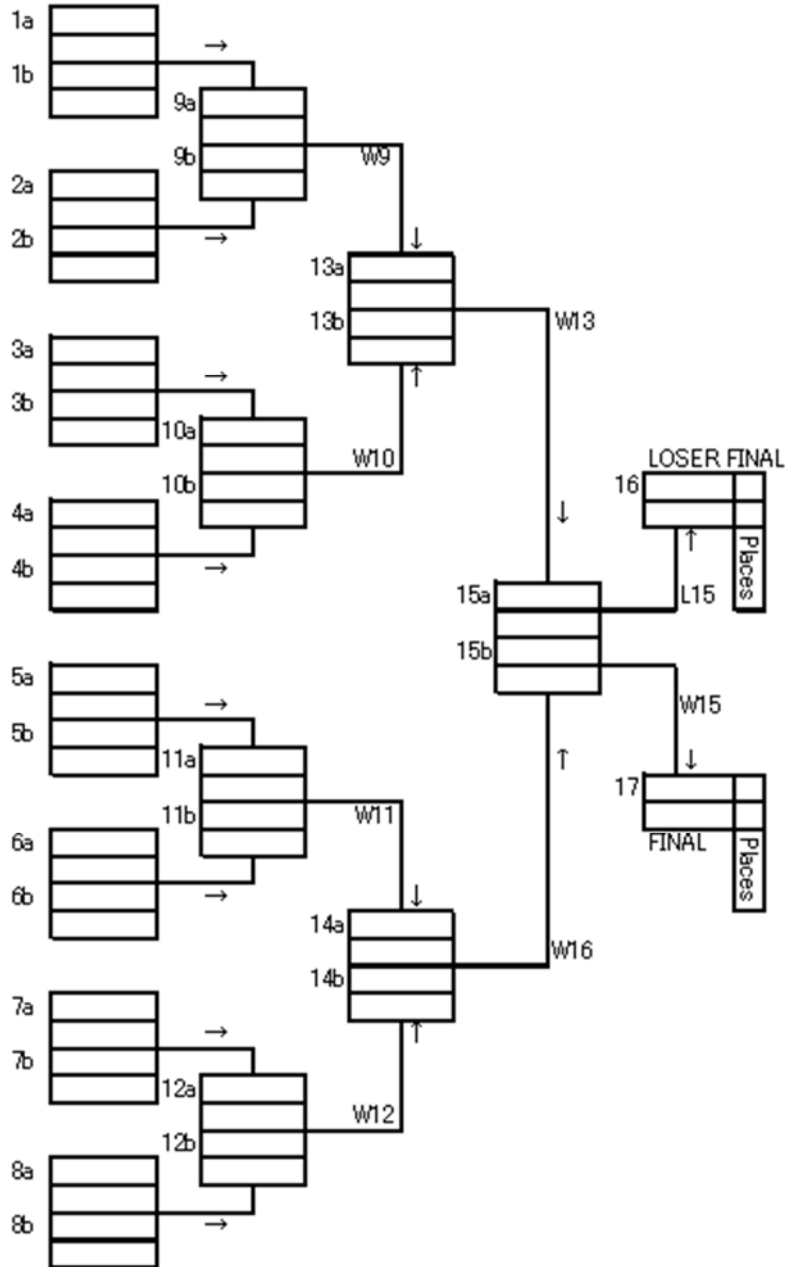
W = Winners L = Losers



SINGLE ELEMINATION

Wave Performance Elimination Ladder to 32 Competitors

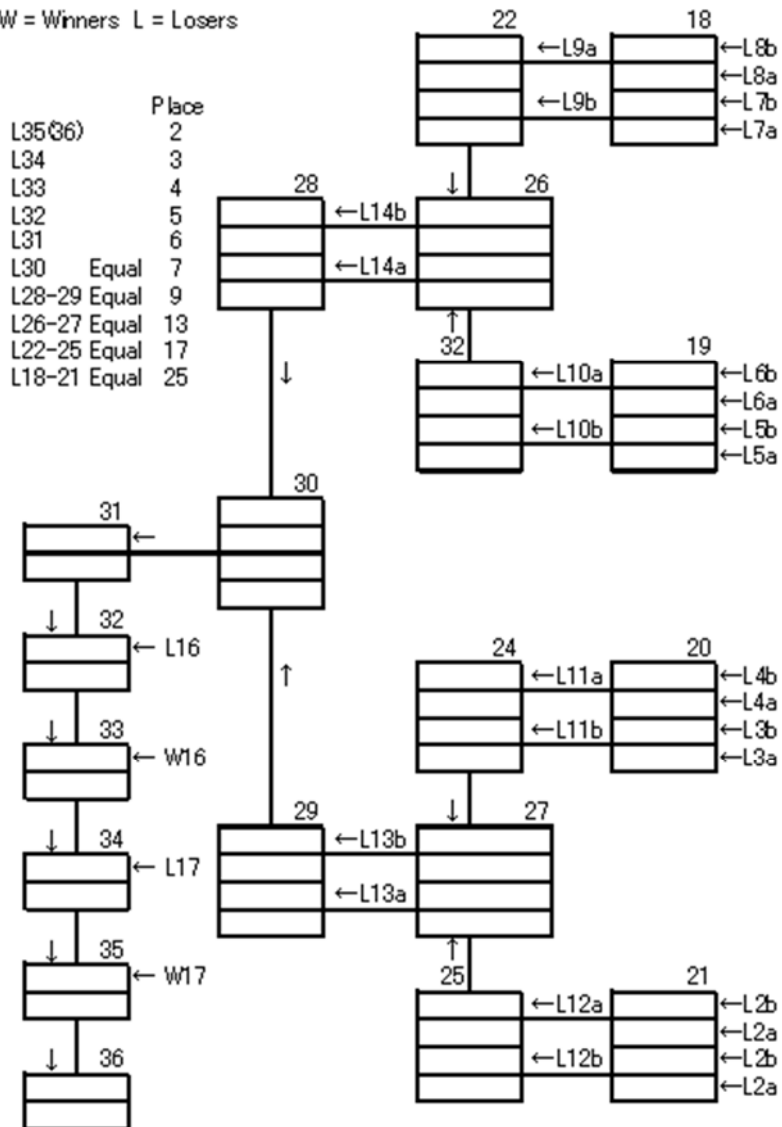
W = Winners L = Losers



DOUBLE ELEMINATION

Wave Performance Elimination Ladder to 32 Competitors

W = Winners L = Losers



付則 C ヒート分け及びシード表

最大 32		最大 16		最大 8	
ヒート NO	シード NO	ヒート NO	シード NO	ヒート NO	ヒート NO
1a	6vs27	1a	3vs14	1a	3vs6
1b	11vs22				
2a	3vs30	1b	6vs11		
2b	14vs19				
3a	7vs26	2a	2vs15	1b	2vs7
3b	10vs23				
4a	2vs31	2b	7vs10		
4b	15vs18				
5a	5vs28	3a	4vs13	2a	4vs5
5b	12vs21				
6a	4vs29	3b	5vs12		
6b	13vs20				
7a	8vs25	4a	1vs16	2b	1vs8
7b	9vs24				
8a	1vs32	4b	8vs9		
8b	16vs17				

付則 D RANKING POINT

PLACE	WAVE / FREESTYLE		
	A	AA	AAA
1	1,671	1,737	1,803
2	1,530	1,586	1,652
3	1,434	1,494	1,566
4	1,350	1,414	1,490
5	1,276	1,350	1,422
6	1,209	1,290	1,362
7	1,126	1,230	1,314
8	1,090	1,178	1,264
9	1,044	1,130	1,214
10	1,002	1,086	1,170
11	966	1,052	1,136
12	934	1,024	1,108
13	908	994	1,078
14	884	972	1,050
15	864	948	1,032
16	847	929	1,011

17	829	910	991
18	812	891	970
19	794	872	949
20	760	853	908
21	760	834	908
22	742	815	887
23	725	796	866
24	708	776	845
25	690	757	825
26	673	738	804
27	655	719	783
28	638	700	762
29	621	681	742
30	603	662	721
31	586	643	700
32	568	624	680